

# 本校の防災に関する考え方

大震災等、災害発生時は「普連土学園災害時マニュアル」に従って、全教職員で対応します。

## 1. 基本的な対応

災害時に生徒が校内にいる場合、基本的には校内に留めます。

- ・地震の際は原則、校庭に一旦避難し、安全を確認の後、講堂に集合・待機します。
- ・各校舎とも、予想されうる大きな震災に対しての耐震性を確認しております。また、講堂は半地下となっており、本校で一番耐震性の高い建物です。
- ・本校敷地の海拔は、16.4m～21.6mです。

校内に留まった生徒は、責任をもってお預かりします。

- ・但し、保護者の方が迎えに来た場合は、お引き渡しすることも可能です。

学校から保護者への連絡は、次の方法があります。

- ・通信システムが正常に稼働しているときは、NTTデータの「フェアキャスト学校連絡網」および「普連土学園緊急ページ」（本校HP）を利用します。「普連土学園緊急ページ」では、校内に残っている生徒の「学年・クラス・番号・姓（カタカナ）」を記載します。
- ・本校の電話回線を利用して校内に残っている生徒から直接電話をしてもらうことがあります。
- ・その他、災害時にAMラジオ（ニッポン放送1242kHz）で、学校安否情報が放送されます。学校単位の安否情報で、普連土学園は「第2支部」です。

周辺の安全と交通機関の運転再開が確認され、生徒本人と保護者が、直接連絡がとれた場合に順次帰宅を許可します。

## 2. 災害備蓄品

非常食は生徒一人当たり3日分備蓄しています。

- ・缶入りパン、アルファー化米（五目ご飯、※アレルギー対策として白米も用意しています）、防災用クッキー、保存水

その他、非常用毛布（全員分）、救急医療セット、衛生用品等があります。

断水となった時に使用する非常用トイレが、校内に10ヶ所あります。普段は、ベンチとして使用しています。

## 3. 登下校時に災害に遭った場合

身の安全確保を最優先し、状況に応じて、自宅・学校・立寄り可能な場所のいずれか近いところに向かうよう、指導しています。

移動が困難な場合は、最寄りの避難所を探して避難するよう指導しています。

東京都と神奈川県私立学校に避難することができます。通学経路近くの私立学校や避難場所を確認するよう指導しています。

## 4. 防災教育

年に2回（5月と9月）全校避難訓練を実施しています。

以上